

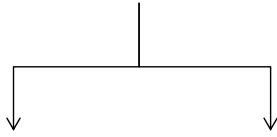
平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	千葉市における事案に係る旧軍毒ガス弾等対策		担当部局庁	環境保健部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度～平成23年度		担当課室	環境リスク評価室		長坂 雄一	
会計区分	一般会計		政策・施策名	6 化学物質対策の推進 6-4 国内における毒ガス弾等対策			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	「国内における毒ガス弾等に関する今後の対応方針について」(平成15年12月16日閣議決定)		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	千葉県千葉市において、平成19年に民間農場から旧軍毒ガス弾の可能性のある砲弾が4発発見されたことを受けて、当該民間農場内で物理探査が可能な範囲において検知・発掘・回収された砲弾を安全に一時保管し、また、無害化処理施設が完成次第無害化処理を実施することにより、旧軍毒ガス弾等による被害の未然防止を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	閣議決定に基づき、民有地において旧軍毒ガス弾等が発見された場合には、環境省が防衛省と協力して、警察庁及び消防庁と連携しつつ、掘削、運搬、保管、処理等を行うこととなっている。千葉市の事案において平成21年度に発掘・回収された旧軍毒ガス弾の可能性のある砲弾は、平成23年度に無害化処理を完了したが、事業の一部である処理施設の撤去と用地の原状回復等については、工期の関係から平成24年度(繰越)において実施した。また、千葉市の事案において砲弾が発見された場所については、地権者における土地利用状況から探査できなかった範囲が残されているため、万一の新たな砲弾の発見に備え一時保管施設を整備した。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算	40	4,708	0		
		補正予算	0	△ 2,883	0		
		繰越し等	0	△ 1,654	1,654		
	計	40	171	1,654			
	執行額	39	62	1,601			
執行率 (%)	98 (%)	36 (%)	97 (%)				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	毒ガス弾の可能性のある砲弾の無害化処理等を行い、国民の生活の安全と安心の確保を図る事業であり、定量的な成果目標の提示は困難である。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	毒ガス弾の可能性のある砲弾の無害化処理等を行い、国民の生活の安全と安心の確保を図る事業であり、定量的な成果目標の提示は困難である。		活動実績	-	-	-	-
			(当初見込み)	(-)	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	- (円/)		算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
		-	-				
	計	-	-				

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	平成15年の閣議決定に基づき、民有地において旧軍毒ガス弾等が発見された場合には、環境省等関係省庁が協力・連携しつつ、掘削、運搬、保管、処理等を行うこととされている。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	旧軍毒ガス弾が発見された場合は、国民の安全・安心を確保するために、迅速・的確に処置することが必要であることから、万一新たに砲弾が発見された場合に備えて一時保管施設を整備することし、競争入札により調達した。 平成23年度までの無害化処理事業により使用済みとなった毒ガス弾保管容器は、費用対効果の観点から、廃棄せず、整備を行って再利用できるように措置することで、今後の発見事業への備えとした。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			—		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			—		
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	万一新たに砲弾が発見された場合において、既存施設でそれらを安全・確実に保管できる場所はなく、一時保管施設の整備は必須である。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○		
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検 結果	本件旧軍毒ガス弾の無害化処理は平成23年度に実施・完了(ただし、処理施設用地の原状回復等については、平成24年度(繰越)において行った。)しており、事業は廃止となっている。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
—						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	213	平成23年	213	平成24年	222

環境省
1,601百万円

〔千葉市における事案に係る旧軍毒ガス弾等対策〕



【請負 一般競争入札】

A
JFEエンジニアリング(株)等
(2機関)

〔旧軍老朽化化学兵器無害化処理
施設設置及び無害化処理等業務〕

【請負 一般競争入札・随意契約】

B
日本物理探鑛(株)等
(5機関)

〔千葉市内における一時保管施設設
置等工事〕

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.JFEエンジニアリング(株)		
費目	使途	金額 (百万円)
計		1,523

本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

B.日本物理探査(株)		
費目	使途	金額 (百万円)
計		28

本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

費目	使途	金額 (百万円)
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	JFEエンジニアリング(株)	旧軍老朽化化学兵器無害化処理施設設置及び無害化処理等業務	1,523	3	57%
2	(株)エイト日本技術開発	旧軍老朽化化学兵器無害化処理施設設置及び無害化処理等業務に係る 監理業務	22	1	95%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本物理探鑛(株)	千葉市内における一時保管施設設置等工事	28	1	97%
2	(株)衝撃工学研究所ほか2件	金属製保管容器の整備業務等	22	随意契約	—
3	(株)エイト日本技術開発	千葉市内における一時保管施設設置等工事監理業務	4	1	100%
4	日本エヌ・ユー・エス(株)	150mm旧軍化学砲弾専用保管容器一式	2	—	—